令和6年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	大砂土デイサービスセンター
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市北区今羽町637番地1</p> <p>②施設の設置目的 老人福祉法に規定する基本理念に基づき、老人デイサービスセンターの利用者の健康で安らかな生活の維持向上に寄与し、福祉の増進を図るための施設</p> <p>③事業内容 老人デイサービス事業(定員15人)</p> <p>④施設の概要 開設年月 平成10年1月 延床面積 228.64㎡ 構造 鉄筋コンクリート造 地上4階建(センターは1階部分)</p>
(3)指定管理者	社会福祉法人 欣彰会
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料(直近3か年) 令和4年度 5,867千円 令和5年度 5,695千円 令和6年度 5,695千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用者数 3,735人(前年度3,440人) ・稼働率97.3%(前年度91.4%)</p> <p>◇業務実施状況 今年度は利用者の休みなども少なく、安定した稼働率を維持することができました。それには事業所の魅力作りを強化し、利用者一人ひとりのニーズにしっかり目を向けることで、きめ細かなサービスや対応を心がける視点を大切に取り組んだ結果、利用者の継続した利用に繋げることができました。また、併設する泰平小学校との交流も再開したことで、子供たちとの触れ合いなど他のデイサービスにはない刺激ある活度を通し、利用者の活気が以前にも増して戻ってきたように思われます。</p> <p>②維持管理業務の状況 施設修繕等としては、昨年8月に落雷によるテレビアンテナの故障により、従来、学校側のアンテナを使用していましたが、復旧の目途が立たないため、当事業所負担で専用のアンテナを増設しております。</p> <p>③その他の業務 感染症について、今年度は4名の利用者が新型コロナウイルスに感染しましたが、そこから感染が広がることもなく利用者も現状回復しております。日々の業務の中に消毒・換気の徹底を図っていたことも拡大防止に大きく貢献できたと思われます。</p>

(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用料金収入 39,596千円 (前年度39,472千円) ・ 指定管理料 5,695千円 (前年度 5,695千円) <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費 28,231千円 (前年度28,657千円) ・ 事務費 7,750千円 (前年度 7,051千円) ・ 施設管理費 1,190千円 (前年度 1,190千円) ・ 事業費 4,934千円 (前年度 4,475千円)
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<p>令和6年7月に食事サービス調査、令和7年2月に利用者満足度調査を実施し、利用者の生の声を聞くことができました。評価としては非常に高い評価を得ることができ、アンケート等で寄せられたご意見などは令和7年度の事業運営に反映しております。</p>
(8)その他	<p>昨今の物価高騰、食費高騰の影響を受け委託業者の値上げに伴い、令和6年6月より590円から620円に値上げをしました。また、同月に処遇改善加算の加算変更と料金の改定が行われました。</p>

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
事業運営の安定した稼働を維持します。	<p>今年度は安定した稼働率の確保を掲げ、新規依頼への柔軟な受け入れ体制を整備したことで、大きな低下を招くことなく運営することができました。新規受入れでは認知症が進行している利用者が多い傾向でした。</p>
利用者が求めるサービス内容の見直し	<p>現状サービスについては利用者一人ひとりに聞き取りを行った結果、女性利用者は手先を使った活動やゆっくりとした時間の中で、お仲間や職員との交流したいとの要望が多数あった事。男性利用者は昔からの趣味を活かせる活動、特に将棋や囲碁、カラオケなど具体的な声が聞けました。実際のサービスに活かしたことで、利用者の活動に対する意欲も高まり、新たな活動に挑戦しようとする気持ちになれたことも見受けられました。</p>
地域に根差した事業所を目指し、地域住民とともに成長できる関係性の構築と社旗福祉法人としての社会貢献活動の普及に努めます。	<p>事業所の社会資源を念頭に併設する泰平小学校児童との福祉教育の推進と日々の交流の中で世代を越えた繋がりから学ぶ人間力の学習などが図れるよう学校側と密接な連携をもって取り組むことができました。そうした活動を学校側の教員や保護者、児童委員の方々からも高く評価されました。</p>
総合事業利用者の新規受け入れ、サービス内容の見直しを図ります。	<p>総合事業の実績稼働は満足いく結果ではありませんでしたが、当初、月曜日と水曜日のみ開所していましたが、徐々に総合事業の周知もできたことで新規依頼も増え、今年度は木曜日と金曜日も新たに開所することができました。サービス内容としては、利用者のニーズに特化した活動のほかに、軽度な運動ができる環境を作り、『健康』を意識したプログラムも取り入れたことで、自宅でも体を動かす習慣がもて、利用者の健康に対する意識が高まりました。</p>

3 評価

(1) 指定管理者による評価

今年度の大きな目標である安定した稼働率の維持につきましては、想定以上の結果となり特に評価すべき内容であったと思われれます。その要因として、利用者一人ひとりに対するきめ細かな対応力の向上、サービスの質自体を利用者ニーズに合わせた活動プログラムに変更できたことで、利用者のデイサービスに通いたい理由となり結果として安定した稼働維持ができたと考えております。また、併設する泰平小学校との密接な関係性も再構築ができ、今まで以上に利用者と学校児童との交流が活発になったことで活気ある事業所の雰囲気向上し、見学に来られた利用者本人や家族、ボランティアの方々からとても良い印象とのお言葉をいただきました。運営全般では令和6年6月に処遇改善加算の見直しを図ったことや、昨今の物価高騰による影響を受け、利用者の食事サービス料金を上げざるを得ない状況がありました。事業者として利用者の負担に繋がるものには最新の注意と予測をしっかりと立てたうえで実施に至っており、現状利用者、家族からの大きな反響等はありません。しかしながら、今の社会基盤の脆弱性に耐えうる事業所独自の努力にも限界があり、将来的な運営基盤の根幹を見直ししていかなければならない状況にあると思います。私たちは、今できる事を利用者サービスで形にしていくことを柱として、いかなる状況におかれても利用者、家族、地域から頼られる事業所として進化していく努力を続けていきます。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:福祉局長寿応援部高齢福祉課)

総合評価 (B) ※A~D

1 項目別の評価

(1) 「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

・併設の小学校との交流事業の実施や、利用者ニーズに応じた活動プログラムの提供など、施設の利用率の向上に努め、昨年度より高い稼働率に達した点を評価した。

(2) 「経費の削減」に対する評価

・節電対策等に努めている点を評価した。

(3) 「適正な管理運営の確保」に対する評価

・介護施設という観点から、新型コロナウイルス感染症やその他の感染症対策を継続し、利用者が安心して利用できる環境整備に努めた点を評価した。また、併設の学校と連携の上、必要な修繕について迅速に対応している点を評価した。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

※令和6年度末で指定管理終了(施設廃止)